

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
全般	全般	全般	全局	全般	・活動指標も成果指標も示されていない課題については、○○の推進、○の実施、○○の検討などをどのような工程で行うのかを具体的に記載していただいた方が良く思われます。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことが可能な改革課題については、積極的に反映する方向で調整を進め、2月の（案）段階で、計215ある改革課題のうち、87の改革課題（全体の約4割）で取組の年割を行ったところでございます。ただし、残りの6割につきましては、年割を行うことができていない状況でございまして、「毎年度、同様の取組を継続的に実施する課題や「市民サービスや施設、現業職のあり方等について検討を進める課題」等であることから、年割にない、あるいは、計画策定段階で取組のスケジュールや工程をお示しすることが難しい課題であるものと捉えております。 ・また、137の改革課題（全体の約6割）で指標（活動指標や成果指標）の設定を行ったところでございます。ただし、残りの約4割につきましては、指標を設定できていない状況でございまして、「市民サービスや現業職のあり方等について検討を進める課題」等であることから、計画策定段階で指標設定することが難しい課題であるものと捉えております。 ・なお、年割ができず、指標の設定もできない課題が48課題（全体の約2割）あることから、今回新たに設定する「到達目標」や個別の課題ごとに進捗管理を行うための進捗管理シート等を活用しながら、計画策定後、より厳格な進捗管理に努めてまいりたいと考えております。
全般	全般	全般	全局	全般	・「効率的・効果的」というキーワードで課題が抽出されていることは理解できるが、各局の業務を費用対効果の側面から羅列してあるという印象である。 ・このピックアップの方法でメリハリの利いた行財政改革プログラムを回していけるのか疑問を感じる。単なるルーティンを挙げているに過ぎない課題は項目から削除してはいかがか。	本市の考え方を説明するもの	・行財政改革プログラム・行財政改革第2期プログラムに基づく取組を経てもなお課題が残る改革課題や効果が発現していない改革課題を中心に、第3期プログラムへ課題の引き継ぎを行うとともに、新たにこの4年間に取り組むべき課題について、経営資源の確保や市民満足度の向上の観点から抽出し、継続課題と併せて、第3期プログラムに位置付けることとしております。 ・なお、第2期プログラムまでの取組を通じ、一定の効果があつたものや役割を終えたものについては、第3期プログラムの改革課題には位置付けていないところでございます。
全般	全般	全般	全局	全般	・「活動指標」、「成果指標」が挙げられていない課題がかなりあるが、上記とも通じ事務事業評価となってしまうのではないかと。行財政改革の観点から、可能な限り定量的目標が必要と考える（実現できる指標かどうかの議論は必要だが）。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことが可能な改革課題については、積極的に反映する方向で調整を進め、2月の（案）段階で、計215ある改革課題のうち、87の改革課題（全体の約4割）で取組の年割を行ったところでございます。ただし、残りの6割につきましては、年割を行うことができていない状況でございまして、「毎年度、同様の取組を継続的に実施する課題や「市民サービスや施設、現業職のあり方等について検討を進める課題」等であることから、年割にない、あるいは、計画策定段階で取組のスケジュールや工程をお示しすることが難しい課題であるものと捉えております。 ・また、137の改革課題（全体の約6割）で指標（活動指標や成果指標）の設定を行ったところでございます。ただし、残りの約4割につきましては、指標を設定できていない状況でございまして、「市民サービスや現業職のあり方等について検討を進める課題」等であることから、計画策定段階で指標設定することが難しい課題であるものと捉えております。 ・なお、年割ができず、指標の設定もできない課題が48課題（全体の約2割）あることから、今回新たに設定する「到達目標」や個別の課題ごとに進捗管理を行うための進捗管理シート等を活用しながら、計画策定後、より厳格な進捗管理に努めてまいりたいと考えております。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
全般	全般	全般	全局	全般	・「到達目標」の記述は、目標というより「実施予定事業（業務）」という趣旨の記述が少なくない。「具体的取組内容」との関連が不明確である（両者の記述がほとんど変わらないものもある）。この欄に適した記述に整理できないか。	各改革課題に反映するもの	・「到達目標」について、この間、更なる調整を進めまして、計画期間である令和4年度から令和7年度までの4年間で、どのような状態になっているべきかという視点で記載するとともに、4年間の取組を進めることで、何らかの効果が発現することが現時点で見込まれる場合については、その効果や成果指標を用いて記載をするようにいたしました。 ・また、「市民サービスや公共施設等のあり方を検討するような課題」など、現時点で、4年後の効果の発現を見込むことが難しい場合については、「4年間でどこまで進めのか」という視点で、「方針の決定」や「方向性の決定」といった記載にさせていただいたところでございます。
全般	全般	全般	全局	全般	・より行財政改革を機能させていくためには、課題を重点化するとか、2層化するなどして、絞り込んだメリハリの利いた取組が必要ではないか。 ・併せて、現行の方法では、十分な意見を提出することが難しい。他方、全体を示したうえで市側が指定した課題だけ見るのでは、妥当とは言えない。 ・上記のとおり、重点化した上で、第三者のチェックを受ける部分と市内部で回す部分を切り分けてはどうか。	各改革課題に反映するもの	・第3プログラムにおきましては、経営資源の確保や市民満足度の向上等の観点から、令和4年度から令和7年度までの4年間で重点的に取り組むべき課題を抽出しているところでございます。 ・課題の重点化等について、今回の第3期プログラムにおいて対応することにつきましては、難しい状況でございますが、御意見の趣旨は大変重要であると認識しておりますので、次の計画を策定する際に検討すべき事項として、適切に引き継いでまいります。 ・なお、第3期プログラムの進捗管理・評価に当たりましては、重点的にチェックいただきたい課題や内容等を絞り込むなど、できる限り工夫してまいりたいと考えております。
1	(1)	1	総務企画局	地方分権改革のさらなる推進	・「特別自治市制度に関する調査・研究を行います。」とあるが、何をいつまでにどれだけやるかが全く不明瞭。到達目標の記載をみなおすべきでは。	各改革課題に反映するもの	・いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「具体的な取組内容」において、「指定都市市長会との連携による経済団体等を対象とした取組や、移行に向けた調査・研究を実施」に修正させていただきました。 ・また、「到達目標」につきましても、「①提案募集方式等を活用した権限移譲や規制緩和、県との協議に基づく権限移譲など地方分権に向けた取組を進めることによる更なる市民サービスの向上及び事務の効率化」及び「②特別自治市の創設に向けた必要な調整や普及啓発等による市民意識の醸成や認知度の向上」に修正させていただきました。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	1	総務企画局	地方分権改革の更なる推進	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかな。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、いただいた御意見の趣旨も踏まえながら、「具体的な取組内容」に「特別自治市制度の制度化に向け、国等へ要請を行うこと」や「出前説明会の開催など、戦略的な広報の実施」を追加するとともに、「到達目標」につきましても、「①提案募集方式等を活用した権限移譲や規制緩和、県との協議に基づく権限移譲など地方分権に向けた取組を進めることによる更なる市民サービスの向上及び事務の効率化」及び「②特別自治市の創設に向けた必要な調整や普及啓発等による市民意識の醸成や認知度の向上」に修正させていただきました。 ・今後、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な取組を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	2	財政局	全庁的な使用料・手数料の見直し	・24施設8手数料の見直しを実施済みとあるが、ほか、未実施の手数料は何件あるのか？全容わかる資料はあるか？	本市の考え方を説明するもの	・対象となる使用料は42施設、手数料は125件あり、うち平成29年度までに24施設8手数料の見直しを実施済みであることから、見直しを未実施の使用料・手数料については、使用料が18施設、手数料が117件となります。 ・未実施の理由としては、標準的な受益者負担との乖離が少ない、法令等により単価が定められている、などによります。
1	(1)	2	財政局	全庁的な使用料・手数料の見直し	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかな。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で、個別具体的な取組スケジュールをお示しすることは、難しい状況でございますが、いただいた御意見の内容を踏まえ、「具体的な取組内容」に、「社会経済状況等を踏まえ、適切な時期に見直す」旨の内容を追加いたしました。また、使用料・手数料の見直しに向けた課題整理及び毎年度決算に基づく原価計算作業を実施してまいります。
1	(1)	3	財政局	全庁的な補助・助成金の見直し	・なにをどこまでやっているのか進捗が不明。全容わかる資料あるか？	本市の考え方を説明するもの	・補助・助成金の見直しについては、毎年度の予算、決算における補助・助成金の一覧表を作成し、公表しております。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	3	財政局	全庁的な補助・助成金の見直し	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、○○の推進、○○の実施、○○の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないか。	本市の考え方を説明するもの	・到達目標を「毎年度の予算編成の中で引き続き見直しを実施することで、「補助・助成金見直し方針」に基づく適切な補助・助成金の計上」することとしています。個別の補助・助成金ごとに見直しの精査を進めていく必要があることから、毎年度、各局の個別の補助・助成金の見直しの考え方を提示してもらいながら、予算編成の中で見直しを進めてまいります。
1	(1)	4	市民文化局	マイナンバーカードの利用動向を踏まえた証明書発行態勢のあり方の検討	・課題がマイナンバーカードの交付体制や付帯業務の増加への対応等を検討することなので、マイナンバーカードの交付率は成果指標として適切か疑問が残る。カードの取得促進の取組を市で行うにしても、交付率の向上はマイナポイント等政府による施策の効果かもしれず、市の活動成果として測れないのではないか。	本市の考え方を説明するもの	・本取組の最終的な目標は、証明書のコンビニ交付等を促進し、将来的な証明書発行体制の最適化を目指していくこととございます。 ・そのためには、マイナンバーカードの交付率向上がコンビニ交付の促進に結び付くことから、直接的な指標の一つであるものと捉えております。 ・また、交付率向上は、国の施策に左右される面もありますが、区役所に来庁した方が、その場で申請できる申請時来庁方式窓口の体制構築や、申請後にカードを受け取りに来ない方への勧奨、土日祝祭日でも受け取りができる体制構築や商業施設等での出張申請会の実施など、自治体における交付促進の取組も交付率向上につながる重要な要素になるものと考えておりますので、本指標を設定してまいります。
1	(1)	4	市民文化局	マイナンバーカードの利用動向を踏まえた証明書発行態勢のあり方の検討	・今般導入されたワクチン接種証明書アプリでもマイナンバー活用など様々な機会を活用し、マイナンバーカード交付率の向上を図りたい。	本市の考え方を説明するもの	・マイナンバーカードの交付促進に向けた継続的な広報等の取組や、市民向けの出張受付窓口の開設等きめ細やかな対応を行い、引き続きマイナンバーカード交付率の向上に努めてまいります。
1	(1)	5	経済労働局	都市農業の課題を踏まえた農業支援のあり方の検討及び効率的・果的な支援の推進	・最先端技術を生かした植物工場の研究や、スマートフードチェーンへの参画は検討されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・川崎市の都市農業の振興におきましては、都市農業の特性を活かし、新規就農者の確保、生産性の向上や農産物の高付加価値化等による農業経営の高度化・安定化に向けて、農業支援のあり方を検討していく必要があります。 ・御指摘のような最先端技術を活かした取組が農業者等からニーズとして寄せられた場合には、行政としての役割を踏まえながら、支援の可能性について検討してまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	6	環境局	堤根余熱利用市民施設等における機能整理について	・特定の利用者だけが受益している状態に陥っていないか？	本市の考え方を説明するもの	・当施設を御利用されている方々のお住まいの把握を行っていないため、特定の利用者だけが受益している状態か否か分からない状況です。 ・しかしながら、当施設の近隣類似施設（公共施設）には、市民プールがないことから、特定の利用者だけでなく、広く近隣住民の方々に利用いただいているものと考えております。
1	(1)	6	環境局	堤根余熱利用市民施設等における機能整理について	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	各改革課題に反映するもの	・活動指標や成果指標を示すことはできませんが、現在の施設は余熱を利用したプール機能のみでしたが、現在検討している機能につきましては、事業者等にヒアリングを行い、市民の健康増進等を促進することができるような調整を進めております。 ・また、本改革課題につきましては、指標設定が難しい課題であると捉えておりますが、「具体的な取組内容」につきましては、可能な限り、年度ごとの取組を記載させていただくとともに、新たに、「新たな堤根余熱利用市民施設の整備に向けた必要な機能の調整」等を追加させていただいたところでございます。
1	(1)	7	健康福祉局	高齢者外出支援乗車事業の見直しに向けた検討	・全国の敬老バス廃止の動きも考えるといまから「ICT導入してみてもから考えます」では動きが遅いのではないかと？他の施策への転換の検討も同時並行すべきでは？	本市の考え方を説明するもの	・本事業は高齢者の社会的活動への参加を促進し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的に実施しているもので、本市においては、当面の間は高齢者数が増加することが見込まれることから、引き続き本事業を実施していくことが必要であると考えておりますが、現在、紙の券を使用していることから、正確な利用実態把握できていない状況にございます。 ・昨年度実施した外部有識者や市民公募委員等により構成する本事業のあり方検討会議の議論の結果、ICT導入により正確な利用実態を把握した上で、改めて持続可能な制度としていくための検討をすることとしておりますので、引き続き、ICT導入等に取り組んでまいります。
1	(1)	7	健康福祉局	高齢者外出支援乗車事業の見直しに向けた検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	各改革課題に反映するもの	・また、本改革課題につきましては、指標設定が難しい課題であると捉えておりますが、「具体的な取組内容」につきましては、可能な限り、年度ごとの取組を記載させていただいたところでございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	7	健康福祉局	高齢者外出支援乗車事業の見直しに向けた検討	・高齢者が外出することなく社会参加できる方策も検討すべきではないか。併せてその場合でも体力・健康維持できる方策も必要と考える。	本市の考え方を説明するもの	・本事業については、社会活動への参加を促進することで高齢者の福祉の増進を図ることを目的としているため、事業としては外出をさらに促進するための方策を検討する必要があると考えており、令和3年3月に策定した本事業のあり方検討に係る報告書においても、引き続き路線バス等を活用した外出支援を行うこととしています。 ・一方、同報告書では令和4年度に導入するICTを活用した新たな社会参加施策についても検討を進めることとしていますので、より高齢者が外出しなくなるような施策の検討を進めてまいります。
1	(1)	8	健康福祉局	高齢者に対する市単独事業のあり方の検討	・総論検討に時間をかけすぎではないか？施策の転換への動きがタイムリーになされるように見えない。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な検討・調整を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	8	健康福祉局	高齢者に対する市単独事業のあり方の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方がよいのではないかと。	各改革課題に反映するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な検討・調整を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	9	健康福祉局	成人ぜん息患者医療費助成制度のあり方の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方がよいのではないかと。	本市の考え方を説明するもの	・アレルギー疾患対策基本法の基本理念や自治体の責務を推進していくことや現行事業を推進していくにあたっての課題を解決していくためには、庁内だけでなく、学識経験者や関係団体代表者などからの意見を聴取するなど、新たな施策を検討する必要があると考えております。 ・計画策定段階で年度ごとの取組を記載することは難しい状況でございますが、頂いた御意見の趣旨等も踏まえながら、「到達目標」について、「成人ぜん息患者医療費助成制度のあり方の検討結果を踏まえた取組及び新たなアレルギー疾患対策の推進等による、より安定的かつ持続可能な総合的アレルギー対策への転換」に修正したところでございますので、当該「到達目標」の達成に向け、更なる検討を進めてまいりたいと考えております。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	10	健康福祉局	休日急患診療所における運営手法の見直し・移設等の検討	・従来型の置き換えだけではなく、新規サービス事業者の活用検討などはなされているのか？	本市の考え方を説明するもの	・初期救急医療を担う本事業の実質的な担い手は川崎市医師会に限定されることから、新規サービス事業者の活用検討などは行っていない状況でございます。
1	(1)	10	健康福祉局	休日急患診療所における運営手法の見直し・移設等の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	本市の考え方を説明するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な検討・調整を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	11	健康福祉局	歯科保健センター等診療事業のあり方の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	本市の考え方を説明するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことができるよう、具体的な工程も含めて、事業主体である（公社）川崎市歯科医師会と連携し、検討を進めてまいりましたが、難しい状況でございます。 ・計画策定後、掲げた4年後の「到達目標」を達成できるよう、必要な検討・調整や公的事業としてのあり方の整理、事業実施方針の策定等の取組を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	12	健康福祉局	生涯現役対策事業の見直し及び効率的・効果的な実施	・大阪府が検討を進める「スマートシニアライフ事業立ち上げ」は参考にされているか？	本市の考え方を説明するもの	・本事業では、シニアが様々なスキルを習得するためのきっかけづくりとなるような講座の実施や介護予防等に関する普及啓発、老人クラブへの支援など、市民が自主的に地域活動を行う上で必要な支援を、民間が提供するサービスとの均衡を考慮しながら行っているところでございます。 ・今後につきましても、時代や社会状況に合せたコンテンツの提供ができるよう、引き続き、随時の見直しをしながら取組を進めてまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	12	健康福祉局	生涯現役対策事業の見直し及び効率的・効果的な実施	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、○○の推進、○○の実施、○○の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないか。	各改革課題に反映するもの	・本改革課題につきましては、指標設定が難しい課題であると捉えておりますが、「具体的な取組内容」につきましては、可能な限り、年度ごとの取組を記載させていただいたところでございます。
1	(1)	13	健康福祉局	重度障害者医療費助成制度の見直しに向けた検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、○○の推進、○○の実施、○○の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないか。	本市の考え方を説明するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な検討・調整を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(1)	13	健康福祉局	重度障害者医療費助成制度の見直しに向けた検討	・これまで制度の在り方を検討して見えてきて方向性はあるのか。	本市の考え方を説明するもの	・当該助成制度は、昭和48年度に神奈川県補助事業として開始した制度でございますので、その後に県が制度を見直し導入した基準（①年齢制限、②一部負担金、③所得制限）が、今後の見直しの考え方の軸となっていくのではないかと考えております。
1	(1)	14	健康福祉局	障害者施設運営費補助のあり方の検討	・施設費補助でいいのか？違う形の助成は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・「運営費補助」は、事業所が利用者に対して良質なサービスを提供できるよう国の法定給付に上乗せし、給付している加算になります。 ・今後、国の制度改正の状況、障害福祉を取り巻く状況や環境の変化、利用者のニーズ等に鑑み、他都市の状況も調査しながら、持続可能な形で、サービス内容について検証してまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	14	健康福祉局	障害者施設 運営費補助 のあり方の 検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	各改革課題 に反映する もの	・本改革課題につきましては、指標設定が難しい課題であると捉えておりますが、「具体的な取組内容」につきましては、可能な限り、年度ごとの取組を記載させていただいたところでございます。
1	(1)	15	こども未来局	こども文化セ ンターの役 割の再整理 を踏まえた 効率的・効 果的な運営 及び施設の 最適化に向 けた検討	・施設の在り方について、縦割りを 排して検討できる体制がとれている のか？	本市の考 え方を説 明するも の	・こども文化センターを所管するこども未来局においては、施設のあり方等について検討するに当たり、「こども施策庁内推進本部会議」を通じ、局内関係部署や関係局間において、横断的な調整と情報共有に取り組んでおります。 ・また、全市的には、施設の所管部局と企画調整部門や公共施設の総合調整に係る部門、行財政改革部門や財政部門が連携しながら、「当該施設が有する機能・役割」、「施設の配置や利用に係る状況」、「維持管理や更新等に要するコスト」、「他施設との多目的化・複合化の可能性」等の各視点に基づき、必要性等を検討した上で、施設のあり方について、検討を進めております。 ・今後、人口減少社会を迎えるに当たり、当面は、床面積の増加を抑制することとしている中で、多くの施設について、そのあり方の検討を進めることとなりますので、より一層、各部門間の連携が有機的に図られるように取り組んでまいります。
1	(1)	15	こども未来局	こども文化セ ンターの役 割の再整理 を踏まえた 効率的・効 果的な運営 及び施設の 最適化に向 けた検討	・成果指標①の目標値を現状値の 2.5倍に引き上げた根拠はなに か。	本市の考 え方を説 明するも の	・令和2（2020）年度の現状値（717,694人）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、こども文化センターにおいて休館や利用制限等を実施したことによる影響や、外出自粛等による影響を大きく受け、大幅に減少しております。 ・一方、令和7（2025）年度の目標値（1,830,000人以上）は、新型コロナウイルスの終息を前提に、減少した利用者数を回復させるため、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前（平成30（2018）年度）の利用者数の水準と同水準を目標として設定したものでございます。
1	(1)	16	こども未来局	公立保育所 が担うべき 機能・役割 に基づく効 率的・効果 的な運営	・保育サービスの量的充足だけでなく、質的充足が社会問題化している。 質向上に対する施策は十分検討されているのか？ この領域のDXの状況は？	本市の考 え方を説 明するも の	・安心して子育てできる環境をつくる取組として、質の高い保育・幼児教育については、多様な手法を用いた保育受入枠の確保、区役所におけるきめ細やかな相談支援、保育の質の維持向上の3つを軸に、待機児童の解消に向けて取り組むとともに、保育と地域の子育ての一体的な支援拠点である保育・子育て総合支援センターの各区整備を進めており、公立保育所と保育・子育て総合支援センターが一体となって、民間保育所等への支援や公民人材育成に取り組んでいるところでございます。 ・また、令和3年度からは、公立保育所においてICT支援ツールを導入し、スマートフォンアプリを活用した災害発生時の緊急連絡等を実施することにより、保護者への確実な情報伝達や保育業務の効率化を図っております。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	16	こども未来局	公立保育所が担うべき機能・役割に基づく効率的・効果的な運営	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	本市の考え方を説明するもの	・計画策定段階で年度ごとの取組を示すことが可能な改革課題については、積極的に反映する方向で、調整を進めておりましたが、現時点において、保育・子育てを取り巻く環境変化やコロナ禍における保育ニーズの変化等を具体的に反映させるまでには至りませんでした。今後、計画期間において、様々な状況の変化を踏まえて計画的に改革課題に取り組んでいきます。 ・また、活動指標や成果指標についても、可能な限り多く設定できるよう、調整を進めておりましたが、上記と同様に設定には至りませんでした。今後、計画期間において、上記と同様に計画的に改革課題に取り組んでいきます。 ・「区ごとの配置の方向性等の検討」や「効率的・効果的な定員数・定員構成の設定等の実施」については、地域の保育ニーズや地域ごとの特性、民間保育所等の状況などを総合的に検討する必要があることから、計画期間の中で様々な状況の変化を踏まえて順次取り組むこととしました。
1	(1)	16	こども未来局	公立保育所が担うべき機能・役割に基づく効率的・効果的な運営	・令和3年4月に公立保育所の民営化が完了とあるが、この段階で公立保育所の最適化の検討を行う趣旨は何か。 ・「保育・子育て総合支援センター」の法的位置づけは何か。	本市の考え方を説明するもの	・市として社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築が求められる中、効率的・効果的な公立保育所の運営に向けて、保育・子育てを取り巻く環境変化やコロナ禍における保育ニーズの変化等様々な状況の変化を踏まえた公立保育所の最適化の検討を行ってまいります。 ・「保育・子育て総合支援センター」は、児童福祉法に基づく保育所や地域子育て支援拠点事業のほか、区配置の保育総合支援担当が一体となった本市独自の施設であり、公の施設として令和元年度に川崎市保育・子育て総合支援センター条例を制定したところでございます。
1	(1)	17	こども未来局	効率的・効果的な待機児童対策の推進	・保育サービスの量的充足だけでなく、質的充足が社会問題化している。質向上に対する施策は十分検討されているのか？ この領域のDXの状況は？	本市の考え方を説明するもの	・安心して子育てできる環境をつくる取組として、質の高い保育・幼児教育については、多様な手法を用いた保育受入枠の確保、区役所におけるきめ細やかな相談支援、保育の質の維持向上の3つを軸に、待機児童の解消に向けて取り組むとともに、保育と地域の子育ての一体的な支援拠点である保育・子育て総合支援センターの各区整備を進めており、公立保育所と保育・子育て総合支援センターが一体となって、民間保育所等への支援や公民人材育成に取り組んでいるところでございます。 ・また、令和3年度からは、公立保育所においてICT支援ツールを導入し、スマートフォンアプリを活用した災害発生時の緊急連絡等を実施することにより、保護者への確実な情報伝達や保育業務の効率化を図っているところでございます。
1	(1)	17	こども未来局	効率的・効果的な待機児童対策の推進	・保育ニーズに応えられる保育事業を実施し、子育て環境の改善につなげられたい。	本市の考え方を説明するもの	・本市では、子ども・子育て支援法の規定に基づき「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画期間における保育ニーズの推計に応じて、保育所等の整備のほか、延長保育や一時預かり事業などの保育事業を計画的に実施しております。 ・現在、教育・保育の利用状況や施設の整備状況等を総合的に勘案しながら、「子ども・若者の未来応援プラン」の策定と併せて、令和4年度以降の「子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しを行っており、今後も策定した計画に基づいて保育事業を実施してまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	18	まちづくり局	都市計画道路網の見直し	・ドローン・空飛ぶ自動車時代の対応は考慮されているか？	本市の考え方を説明するもの	・交通分野における新技術、新制度については日々進歩しており、国土交通省において「物流分野におけるドローンの活用」などの検討が進められております。今回の計画期間内において御指摘のドローン、空飛ぶ自動車の活用は難しいことから、今回の取組の中に考慮しておりませんが、今後の見直しに向け、引き続き新技術・新制度の開発動向に注視してまいります。
1	(1)	18	まちづくり局	都市計画道路網の見直し	・成果指標①の建築制限が撤廃される建築物棟数は、計画道路が変更になれば、必然的に出てくる棟数ではないのか。指標として妥当か。	本市の考え方を説明するもの	・見直し候補路線である3路線3区間について、先行して建築制限は緩和しておりますが、都市計画手続きが完了するまでは、都市計画法に基づく建築許可申請手続きが必要となりますので、こうした状況を踏まえると、指標としては妥当であるものと考えております。
1	(1)	19	まちづくり局	バスネットワークの形成に向けた効率的・効果的な路線や運行方法等の検討	・ドローン・空飛ぶ自動車時代の対応は考慮されているか？ ・最適路線網の検討も時間かかっていては意味がない。どのような材料をベースに誰がどうやって経営主体間利害調整も含めた検討を早期に行っていくのか？	本市の考え方を説明するもの	・交通分野における新技術、新制度については日々進歩しており、国土交通省において「物流分野におけるドローンの活用」などの検討が進められております。今回の計画期間内において御指摘のドローン、空飛ぶ自動車の活用は難しいことから、今回の取組の中に考慮しておりませんが、引き続き新技術・新制度の開発動向に注視してまいります。 ・今後、路線バスの詳細な利用動向を把握する調査を実施し、その結果等を踏まえ、まちづくり局が主体となり路線の効率化に向け、バス事業者との調整を行うとともに、生み出した輸送資源を効果的に路線の新設・見直しに活用するなど、効率性と効果の視点を踏まえながら、庁内関係部署や各バス事業者と連携し、基盤整備や開発等の機会を捉えた調整等を行ってまいります。
1	(1)	19	まちづくり局	バスネットワークの形成に向けた効率的・効果的な路線や運行方法等の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	各改革課題に反映するもの	・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者減少により各バス事業者においても先を見通しづらい状況ではございますが、御意見を踏まえできる限り具体的な記載を行うよう努めてまいりました。 ・また、本改革課題につきましては、指標設定が難しい課題であると捉えておりますが、「具体的な取組内容」につきましては、可能な限り、年度ごとの取組を記載させていただいたところでございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	22	建設緑政局	市内駐輪場施設の見直し	・電動スクータ、電動キックボード、パーソナルモビリティなどへの対応は？	本市の考え方を説明するもの	・川崎市自転車等の放置防止に関する条例において、市営駐輪場については「自転車、原動機付自転車、自動二輪車のうち、総排気量が0.125リットル以下又は定格出力が1.00キロワット以下のもの」を駐車できる対象としております。 ・電動スクーター・電動キックボードは原動機付自転車に該当するため駐車は可能ですが、施設等の設備仕様が原動機付自転車用であることから、施設できない場合には利用者の自己管理となる事を確認した上でご利用いただいております。 ・また、超小型モビリティは軽自動車に該当するため同駐輪場への駐車はできないものでございます。
1	(1)	23	建設緑政局	市営霊園における持続的で公平な墓所の供給	・今後の高齢化社会下での想定死亡数等の見通しは？	本市の考え方を説明するもの	・市営霊園では平成23年から令和12年度までの20年間に、平成27年度に策定した「川崎市営霊園の整備と管理の方針」で、市内の死亡者推計等を基に墓所の需要予測を19,000基としております。 ・これを受けて平成29年度に「川崎市営霊園整備計画」を策定し、アンケート収集等により一般墓所等と合葬型墓所の供給割合を定めております。 ・合葬型墓所については平成31年3月に整備し、同年度より供用を開始しておりまして、一般墓所等についても、循環利用状況を踏まえた計画的な墓所供給の取組を推進しております。
1	(1)	23	建設緑政局	市営霊園における持続的で公平な墓所の供給	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないかと。	各改革課題に反映するもの	・御意見の趣旨を踏まえ、活動指標として「小区画の一般墓所（1㎡）の募集基数（累計）」を設定するとともに、成果指標として「小区画の一般墓所（1㎡）の墓所使用料による歳入（累計）」を新たに追加いたしました。
1	(1)	24	消防局	救急隊の現場到着時間の維持・短縮及び救急車の適正利用	・適正利用に向けた軽症者への啓発はいいが、現場到着時間の維持短縮に対する具体的施策の洗い出しは？社会的関心が非常に高い重要な部分である。	本市の考え方を説明するもの	・救急隊の現場到着に時間がかかる原因の一つとして、局地的な救急需要の集中が考えられます。これまでも需要の集中について、指令センターが把握した際には、一時的に救急隊を増強し対応を図ってまいりました。 ・更なる救急隊の現場到着時間の短縮として、局地的な救急需要の集中をデータ等からAIに予測させる試みを実施し、予測精度等について検討を行う予定でございます。 ・また、予測に基づく一時的な救急隊の増強や、配置変更についての可能性も検討を行う予定でございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(1)	25	教育委員会事務局	宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に伴う効率的・効果的な管理運営手法の検討	・活動指標も成果指標も示されていないが、指標で示せないのであれば、〇〇の推進、〇〇の実施、〇〇の検討などをどのような工程で行うのかをもう少し具体的に記載していただいた方が良いのではないか。	本市の考え方を説明するもの	・「今後の市民館・図書館のあり方」に基づく市民館・図書館全体の効率的・効果的な管理運営手法の検討については、本プログラム策定後に検討結果を取りまとめる予定でございますので、本プログラム策定後、具体的な取組を開始し、その進捗管理を進める中で、適切に対応してまいります。
1	(1)	25	教育委員会事務局	宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に伴う効率的・効果的な管理運営手法の検討	・具体性が不明。「新たな管理体制」とは何をイメージされているのか？安易な官民連携イメージだけでは問題。	本市の考え方を説明するもの	・「今後の市民館・図書館のあり方」に基づく市民館・図書館全体の効率的・効果的な管理運営手法の検討については、本プログラム策定後に検討結果を取りまとめる予定でございますので、本プログラム策定後、具体的な取組を開始し、その進捗管理を進める中で、適切に対応してまいります。
1	(2)	1	総務企画局	市民生活の利便性向上に向けたICTの活用	・国の動向を待つだけではない、独自の動きは？ ・他都市との連携・共同化は？	本市の考え方を説明するもの	・オープンデータの取組に関しては、本市独自の取組として、平成30年度に、民間企業と連携しながら、区役所等の窓口混雑情報をリアルタイムな形でオープンデータ化し、WebAPIで提供することで一部の民間サイトで活用されております。 ・また、令和元年10月には、かわさきイベントアプリの情報もWebAPIによりオープンデータとして公開し、民間サイト等で活用されているほか、令和3年3月には本市が運用するAIチャットボットシステムにおいて、オープンデータ化した区役所等の窓口混雑情報やイベント情報を活用し、チャット上で表示できるようにしております。 ・こうしたWebAPIを活用したオープンデータ化の取組が評価され、政府CIOポータルオープンデータ100にも登録されております。 ・令和3年3月にリニューアルしたかわさき子育てアプリについては、他都市で多く利用されているパッケージ化されたアプリを活用することで、費用を抑えつつ、高機能（予防接種の管理等が可能）なアプリを導入することができたところでございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(2)	2	総務企画局	行政手続のオンライン化・窓口等のキャッシュレス化の推進	・市民利便性の大原則である、「ワンスオンリー」対策は？ ・デジタルデバイド対策の具体は？ ・部局連携・他都市との共同化は？	本市の考え方を説明するもの	・ワンスオンリーの実現に向けては、マイナンバー制度等を活用することで手続に必要な添付書類等を省略することが可能となりますが、現時点では法律上の制約やシステム間連携上の課題があることから、今後の国の法改正やシステム標準化・共通化の進捗状況を確認しながら、適切に対応できるよう取組を進めてまいります。 ・デジタルデバイド対策については、システム導入や更新の際に、誰もが使いやすい行政サービスとなるよう事前協議・審査を徹底すること、区役所等の窓口における「(仮称)デジタル支援員」の配置、NPO 法人、地域のデジタル人材、ICT 関連事業者との連携や国の事業を活用したデジタル活用支援講座の実施等を検討しています。各事業でもスマホ教室等を行う事例がありますので、関係部局と連携しながら取組を進めてまいります。 ・行政手続のオンライン化については、他都市と共同で利用可能なクラウドサービスである簡易版電子申請サービス(LoGoフォーム)を令和3年4月から導入しており、当該サービスを利用して、職員が作成した申請フォームを部局間で共有するなど、効率化を図りながらオンライン化に向けた取組を進めてまいります。
1	(2)	3	財政局	電子調達システム等を活用した契約業務の効率化	・予算編成過程、財務事務にかかるDXは？ ・他部局、他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	【予算編成過程に係るDXについて】 ・ペーパーレス化の推進に伴う「紙文書削減・ペーパーレス促進ガイドライン」の策定（令和3年6月4日付け3川総第86号参照）を踏まえ、予算編成に係る資料は、すべて電子データで提出するよう今年度変更を行いました。今後、この取組の結果を検証し、予算編成過程におけるDXに向けて検討を進めてまいります。 【財務事務に係るDXについて】 ・現在使用している総合財務会計システムは、平成14年の稼働となっていることから、次期更新の際にDXに向けて検討を進めてまいります。 【電子入札システムについて】 ・行政情報システムの機器更新及び再構築の動向を踏まえた上で、経費や人員、事務手続の手法等の観点から、効果的・効率的な方法を検証し、引き続き、他部局への利用対象の拡大について検討してまいります。一方で、本市のシステムが総合財務会計システムと連携していること、他の自治体に先んじて構築していること及び仕様が本市独自の入札制度に対応していること理由から、他都市との共同利用は困難であるものと考えております。
1	(2)	4	市民文化局	ICTを活用した各種相談業務の効率的・効果的な実施の検討	・他部局、他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	【他部局との連携・共同化】 ・これまでも、庁内における「契約事務の一元化」や「総務事務の集約化」等に取り組んでまいりました。 ・局間連携や一元化・集約化については、行財政改革の取組を進める上で有効な手法の一つであり、かつ、煩雑な業務等については、事務事故・事務ミスの防止にも寄与するものと考えており、今後につきましても、当該課題に掲げる取組をはじめ、可能な事業や業務等については、積極的に検討を進めるとともに、庁内の好事例につきましては、広く「横展開」してまいりたいと考えております。 【他都市との連携・共同化】 ・弁護士相談等、各区で実施している相談事業については、川崎市だけでも多くの需要があります。そのため、ICT化が進むことによる他都市との事業共同化によるスケールメリット等は、小さいものと考えておりますので、現在のところ具体的な検討は実施していません。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(2)	4	市民文化局	ICTを活用した各種相談業務の効率的・効果的な実施の検討	・活動指標も成果指標も示されていないので、どのような工程でオンライン相談の試行実施や運用状況の検証、検証結果に基づく改善を行うのか、もう少し具体的に記載していただきたい。	各改革課題に反映するもの	・いただいた御意見の趣旨を踏まえ、活動指標に「オンライン相談を導入した相談業務の数」を追加するとともに、施行実施や導入に向けた業務ごとの運用ルールの決定等を年度ごとに、段階的に行う旨、「具体的な取組内容」に記載いたしました。
1	(2)	5	経済労働局	消費生活相談におけるデジタル技術を活用した効率的・効果的な実施手法の検討	・他部局、他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・現在、消費者庁では消費者相談業務のデジタルトランスフォーメーションの検討を進めているところであり、消費者庁の検討結果を踏まえて、本市におけるデジタル技術を活用した相談手法を検討していく必要があります。 ・消費者庁は、本市の相談員だけでなく、全国の市町村が使用している基盤システムも含めてDXの検討を進めており、他都市での相談情報を全国的に共有しながら相談業務を進めることも含めて検討していると伺っております。 ・一方で、相談員による対面式の相談業務も必要であると考えていることから、今後、国の検討状況も踏まえて、対応を検討してまいります。
1	(2)	5	経済労働局	消費生活相談におけるデジタル技術を活用した効率的・効果的な実施手法の検討	・活動指標も成果指標も示されていないので、どのような工程で相談手法や管理方法の検討を行うのか、もう少し具体的に記載していただきたい。	各改革課題に反映するもの	・令和3年9月に消費者庁が公表した「消費生活相談のデジタル化に係る中間的とりまとめ」では、令和4年度に地方説明会を実施し、令和5年度以降に新システムの整備や新体系への移行を行うと示されており、移行時期について具体的な年度は示されていません。 ・本市における検討は、消費者庁の検討に合わせて実施していくことになり、国の審議内容の進捗状況にあわせて相談手法や管理方法の検討を進めていくことになることから、計画策定段階で年度ごとの取組を示すことは難しい状況でございますが、「具体的な取組内容」に、「本市におけるデジタル技術を活用した相談窓口との連携可能性の検討」や「相談手法等の検討結果を踏まえた業務等の見直しの検討」について追記するとともに、掲げた4年後の「到達目標」の達成に向け、必要な取組を着実に進めてまいりたいと考えております。
1	(2)	6	教育委員会事務局	ICT環境・先端技術の活用及び最適化に向けた取組の推進	・他部局、他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・他部局との連携・共同化については、現状では特にないものと考えております。 ・他都市との連携については、GIGAスクール構想が全国的に同時並行で動いている状況でございますので、他都市事例についても、好事例となるか等がまだ判断できない状況にございます。 ・いずれにいたしましても、他都市の動向については注視しながら、計画期間中の進捗管理のなかで、状況を判断しながらGIGAスクール構想について取組を進めていく予定でございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
1	(3)	全般	総務企画局 市民文化局 健康福祉局 まちづくり局 建設緑政局 港湾局 臨海部国際戦略本部 教育委員会事務局	(市民サービスの向上に向けた民間活用)の推進)	・民間活力導入という美辞麗句のもと各種取り組みがなされているが、ホンモノの官民連携はほとんどない。公共の覚悟と共同環境の情勢。ベストプラクティスの研究・共有は？	本市の考え方を説明するもの	・本市では、令和元年度に民間活用推進方針を策定し、ハード事業だけでなくソフト事業も含め、広く官民連携への取組の方向性を定めたところです。方針策定やその後の取組にあたっては、専門の附属機関を創設し、外部有識者の意見を伺いながら進めているところでございます。 ・その結果、コンセッション導入含むPFI手法を導入する等々力緑地再編整備や公有財産利活用による川崎駅西口大宮町での民設民営によるホール等の建設・運営等の事業が形となってまいりました。 ・また、対外的に官民連携の可能性のある事業一覧を公表するとともに、地域業界団体等を共に運営するPPPプラットフォームの場では、本事業に係る対話だけでなく、事業者や市職員向けの勉強会を開催し、各種取組の研究・共有を図っているところでございます。
1	(3)	2	市民文化局	防犯灯の効率的・効果的な維持管理手法の検討	・信号柱（県警）との連携は検討されているか？	本市の考え方を説明するもの	・電気事業法施行規則により、原則、一需要場所につき一契約という制限が課されているため、既に警察と電力会社の間で信号機の電力契約が交わされている信号柱において、新たに防犯灯の電気契約を川崎市が電力会社と取り交わすことはできません。 ・なお、防犯灯を所管する市民文化局市民生活部地域安全推進課においては、神奈川県警察からの出向職員を配置しており、県警察と定期的に意見交換・情報共有等を行っております。
2	(2)	1	総務企画局	業務プロセス改革の推進	・BPR前提は素晴らしいが、他部局・他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・今年度実施した全庁業務量調査の結果を踏まえ、行政手続を所管する部署等と密に連携しながら、外部の専門的知見の活用等によりBPRを推進してまいります。 ・多数の自治体に参加する業務手順書を共有するプラットフォームに参加し、様々な都市との連携により、BPRを推進することを検討しております。
2	(2)	2	総務企画局	デジタルの活用によるワークスタイル変革の推進	・BPR前提は素晴らしいが、他部局・他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・紙文書が多い部署へのコーチング活動について、関係部署と連携し、全庁の紙文書が多い部署へのコーチング活動を実施してまいります。 ・また、新本庁舎におけるグループデスク等の導入等の環境整備や、FAX等の複合機への機能統合による生産的で働きやすい職場づくりの実施については、関係部署と連携して検討、推進しているところであり、その他の庁舎においては、大規模改修等に合わせ、環境整備を検討してまいります。 ・他都市と共同で利用可能なクラウドサービスによるチャットソフトを令和3年4月から導入しており、当面の間、当該サービスを利用して、より円滑なコミュニケーションに向けて取組を進めてまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(2)	3	総務企画局	デジタル化時代の変化を見据えた公文書館のあり方の検討	・BPR前提は素晴らしいが、他都市・他都市との連携・共同化は？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・デジタル化・ペーパレス化は国の動向(原本性担保の司法判断・法改正・国立公文書館における管理手法)及び本市デジタル化推進部署における方向性を踏まえ、公文書管理を含めて文書主管課と協議を進めてまいります。 ・他都市では主として歴史資料としての公文書を所蔵する歴史館的な施設が多い中、当館は数少ない現用公文書の集中管理を行う中間書庫機能を有しており、今後も保存期限までは引き続き紙の現用公文書の適切な保管・管理が必要となります。 ・歴史資料等は、市民ミュージアム等の関係部署と令和3年11月18日に策定された「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方」を踏まえながら調整・協議による保管・収蔵の整理と情報共有を進めてまいります。
2	(4)	1	財政局	市税収入率の更なる向上	・高市税収入の実現は素晴らしいが、次は投入コストの削減が課題。それ(効率性向上)に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・市税収入確保対策の推進にあたっては、毎年度状況の変化に合わせてポイントを絞り、経営資源を集中的に投入することにより取り組んでまいりました。 ・その結果、本市過去最高の市税収入率を達成するとともに、政令第1位の収入率となったところでございます。 ・収入率が99%を超えるなかで、取組の効率化はより一層重要となりますので、これまで以上にコストを意識しながら、政令第1位の市税収入率の達成を目指してまいります。
2	(4)	2	財政局	市税以外の債権における収入未済額の縮減	・収入未済額削減の実現は素晴らしいが、次は投入コストの削減が課題。それ(効率性向上)に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・市税以外の債権の債権対策の推進にあたっては、債権の性質が様々であることから、債権対策本部会議をはじめとした各種会議において、各債権所管課の効率的・効果的な取組の横展開を図るなどのタイムリーな見直しを行い、債権管理条例制定後の6年間で約4割の収入未済額の縮減を進めてまいりました。 ・収入未済額の縮減が進むなかで、取組の効率化はより一層重要となりますので、これまで以上にコストを意識しながら、更なる縮減を目指してまいります。
2	(4)	3	財政局	戦略的な資金調達と資金運用の推進	・地方債償還年限問題(アセットとの実質的対応)の検討はなされているか？	本市の考え方を説明するもの	・本市では、資産マネジメントに取組として、施設の長寿命化や資産保有の最適化、財産の有効活用を全庁的に推進しておりまして、各施設の長寿命化対策事業等に地方債を財源とするなど、施設の寿命を考慮しながら地方債を有効的に活用しているところでございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(4)	6	健康福祉局	一層の国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料の収入確保	・収入確保実現はすばらしいが、次は投入コストの削減が課題。それ（効率性向上）に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・各保険料の収入確保対策の推進にあたっては、これまで各保険料で行っていた収納業務を各区役所保険年金課収納係に集約するとともに、収納対策所管課を収納管理課に一体化するなど組織体制を強化し、効率のかつ効果的な収納対策を実施した結果、収入未済額は減少しております。 ・収入未済額の縮減が進むなかで、取組の効率化はより一層重要となりますので、これまで以上にコストを意識しながら、更なる縮減を目指してまいります。
2	(4)	7	健康福祉局	国民健康保険給付費返還金の収入確保	・収入確保実現はすばらしいが、次は投入コストの削減が課題。それ（効率性向上）に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・国民健康保険給付費返還金の収納対策については、これまで健康福祉局医療保険部医療保険課が行っていましたが、令和2年度から収納等の企画関係業務を健康福祉局医療保険部収納管理課へ移管し、保険料収納のノウハウを活かした効果のかつ効果的な収納対策を実施した結果、収入未済額は減少しております。 ・収入未済額の縮減が進むなかで、取組の効率化はより一層重要となりますので、これまで以上にコストを意識しながら、更なる縮減を目指してまいります。
2	(4)	8	こども未来局	一層の保育料収入確保に向けた取組強化	・収入確保実現はすばらしいが、次は投入コストの削減が課題。それ（効率性向上）に取り組んでいるか？	本市の考え方を説明するもの	・収入確保実現に向けて、既存の職員体制の中で効率的に執行する観点から、適時、他債権や他都市の手法等も参考とし、その時点において効果の高い手法にシフトしながら柔軟な対応に努めているところでございます。
2	(4)	9	まちづくり局	市営住宅使用料の収入確保	・収入確保実現はすばらしいが、次は投入コストの削減が課題。それ（効率性向上）に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・収入確保に向けた取組に当たっては、次のとおり市・公社及び弁護士で分担して対応しており、現年度分の初動対応を強化することで、滞納繰越分を含む徴収経費の縮減を図ってまいります。 【現年度分】 ・市及び住宅供給公社が徴収を行っています。徴収に当たっては、通知送付、臨場催告等を要するため、一定のコストが生じますが、手続等の効率性を意識しながら取組を進めてまいります。 【滞納繰越分】 ・弁護士に委託して徴収を行っています。委託費用徴収に係る費用については、徴収実績を基に算定・支出しており、現年度分に関する対応を強化し、滞納繰越分の縮減を実現することで弁護士委託費用の削減を図ってまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(4)	10	教育委員会事務局	学校給食の 公会計化後の 効率的・効果的な取組の推進	・収入確保実現は素晴らしいが、次は投入コストの削減が課題。それ（効率性向上）に取り組んでいるか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・令和3年度から市で管理している債権のため、まずは着実な債権確保に努めますが、その上で、第3期プログラムの目標値の達成に向けて、費用対効果の観点を踏まえながら、より効果の高い施策の検討を進めてまいります。
2	(5)	全般	総務企画局	(戦略的な 資産マネジメント)	・公共アセットの生産性（稼働率等）につき適切に管理され、けん制が働いているか？ ・部局縦割りを越えた資産の有効活用が十分に検討されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・令和3年2月に「川崎市公共施設白書」（以下「白書」といいます。）をとりまとめ、利用状況（稼働率）が把握可能な公共施設について、過去3か年分の利用状況について把握・掲載しているところでございます。今後、白書については、毎年度更新を予定しております。 ・令和4年度以降、「資産マネジメント第3期実施方針」（以下「方針」といいます。）に基づき推進する「地域ごとの最適化」において、複数の中学校区を単位とする地域ごとに、配置されている公共施設の利用状況等を踏まえ、施設の多目的化・複合化を検討いたします。 ・「地域ごとの最適化」を含めた資産保有の最適化等、資産マネジメントの取組については全庁的な調整が必要であることから、今後、方針に基づき、施設所管局が把握する利用状況・コスト等の施設情報、各区が把握する地域課題等を踏まえ、資産マネジメント推進部署である公共施設総合調整室が、施設所管局及び各区と資産保有の最適化等に関する調整を行ってまいります。 ・なお、御意見の趣旨につきましては、資産マネジメント第3期実施方針素案にすでに反映させていただいているところでございます。
2	(5)	8	経済労働局	効率的・効果的な計量検査業務に向けた見直しの検討	・新テクノロジー（レーザー計測、ドローン計測等）の導入は図られているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・本市の計量検査所では、適正な計量の実施を確保するため、はかりの定期検査、商品量目立入検査及び有効期間のある特定計量器の立入検査を行っております。 ・現在は、御意見のあった新テクノロジー計測機器の導入及び適性検査の実施等は予定しておりませんが、市民からの問い合わせ等に適切に対応するため情報収集等に努めてまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(6)	1	経済労働局	競輪事業特別会計の健全化に向けた取組の推進	・各会計の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各会計内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・競輪事業特別会計につきましては、今後の施設整備や包括委託の内容も反映した5年間の中長期事業収支計画を内部管理資料として作成しているところでございます。 ・現在、会計内部で管理会計を設定するなどの取組はしていませんが、車券の販売手法別の収益の傾向や費用等を分析しながら、更なる収益の向上に向けて、検討を進めてまいります。
2	(6)	2	経済労働局	卸売市場事業特別会計の健全化等に向けた取組の推進	・各会計の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各会計内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・卸売市場特別会計につきましては、概ね10年間の市場運営のあり方等を取りまとめた「川崎市卸売市場経営プラン」を策定しているところでございますが、事業収支計画につきましては、現在、北部市場の機能更新を検討しているところであり、変動要素も大きいことから、内部管理資料として収支計画を作成しております。 ・今後、北部市場の機能更新の検討の中で、収支計画も併せて検討してまいります。 ・また、卸売市場特別会計は、中央卸売市場北部市場と地方卸売市場南部市場で構成されていることから、各市場別に収支状況を管理しているところでございます。
2	(6)	2	経済労働局	卸売市場事業特別会計の健全化等に向けた取組の推進	・全国の公営卸売市場の有効稼働率、生産性の問題が提起されつつある。卸売市場の有効活用は検討されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・北部市場では、これまでも有効活用の取組を進めてきたところでございますが、一方で基幹施設の老朽化が進行しており、全体的な機能の更新を必要としています。機能更新の検討にあたっては、人口減少や市場経由率低下等の課題があることから、有効活用の観点も含む効率的・効果的な機能更新の内容・スキームに関するサウンディング調査を実施しているところであり、ご指摘の点も十分に踏まえながら取組を推進してまいります。
2	(6)	3	港湾局	港湾整備事業特別会計における東扇島堀込部土地造成事業の財政負担の軽減及び収入の確保	・各会計の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各会計内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	本市の考え方を説明するもの	・埋立事業に係る資金はJR東海が負担しております。 ・工事は市が実施しており、工事発注前に、工事に必要な資金を、市がJR東海へ請求し、計画的に事業収支を進めております。 ・また、基盤整備事業に係る資金は、令和8年から2か年で市が負担することになるため、3期プログラムの次の計画に位置付けてまいります。 ・東扇島堀込部土地造成事業については、JR東海からの負担金を財源として実施する事業が含まれていることから、港湾整備事業基金における当該負担金残額が他の基金残額と混同することのないよう、両者を区分して適切に出納管理を行っております。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(7)	1～6	上下水道局	(公営企業 の経営改 善)	・各公営企業の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各公営企業内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	本市の考 え方を説 明する もの	・本市では、上下水道事業における現状と課題を踏まえて施策を設定するとともに、財源などに裏付けられた実効性の高い具体的な取組内容を取りまとめた「上下水道事業中期計画」の中で、財政収支見通しを作成しています。財政収支見通しは、本計画で予定している施策・取組の着実な遂行に必要な投資額や維持管理費用について、適切な財源予測に基づく合理的な見積もりを行い、取りまとめたものとなっております ・中期計画は、施策ごとに取組内容や計画目標を定めていますので、それぞれの施策の進行状況を把握し、会計情報も含め進捗管理しています。設定した取組や計画目標に対して、毎年度、取組成果、進捗状況、目標の達成度など現状の把握から、問題・課題を明確にし、施策の目標達成に向け、施策、目標の見直し、執行プロセスの改善、改良につなげております。 ・なお、計画の進捗状況については、学識経験者、団体推薦者及び公募市民によって構成される「川崎市上下水道事業経営審議委員会」へ報告し、御意見を伺い、その結果を事業運営に生かしております。 ・各改革課題すべてにかかるものですが、市の行財政改革第3期プログラムではなく、上下水道局で策定している「川崎市上下水道事業中期計画」に反映しております。
2	(7)	7～9	交通局	(公営企業 の経営改 善)	・各公営企業の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各公営企業内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	本市の考 え方を説 明する もの	・市バスでは、中長期的な経営の基本計画である「川崎市バス経営戦略プログラム 2019-2025」を策定し、取組を進めております。 ・市バスでは、管理会計情報としては、経営判断の材料として路線別の乗車人員や収支を把握しております。
2	(7)	7	交通局	持続可能な 経営基盤の 構築	・DXの検討は？ ・経営基盤再構築の前に、民間事業者とのすみ分けも含めた地域交通最適化を今後将来にわたってかんがえるうえでの存在意義の再検討は？	本市の考 え方を説 明する もの	・市バスでは、乗車券のＩＣ化の取組として、モバイルＰＡＳＭＯを導入しました。さらなるＩＣ化に向けて普及促進に向けた取組を推進してまいります。 ・また、市バスについては、これまで地域の身近な足として市民生活を支えてきました。今後も公営バスの役割を果たすためには持続可能な経営基盤の構築が必要となりますので、経営改善に向けた取組を推進してまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
2	(7)	10～12	病院局	(公営企業の経営改善)	・各公営企業の中長期事業収支計画は立てられているか？ ・各公営企業内部の管理会計情報は適切に把握される仕組みになっているか？	本市の考え方を説明するもの	・旧計画（川崎市立病院中期経営計画2016-2020）においては、中長期事業収支計画を立てており、次期計画（策定作業中）においても検討しております。 ・毎月の稼働状況を確認するほか、月次の決算を把握しております。
2	(7)	10	病院局	次期「川崎市立病院中期経営計画」に基づく経営健全化の推進	・地域医療連携の最適化の検討（→将来にわたっての市民病院の存在意義）は？	本市の考え方を説明するもの	・地域における医療機能の分化に伴い、基幹病院又は中核病院として求められる高度・特殊な医療を確実かつ効率的に提供していくため、「登録紹介医制度」を実施しており、地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を推進することにより、地域医療連携の充実に取り組んでおります
2	(7)	13	病院局	市立病院におけるデジタル化の推進	・他部局・他都市との連携・共同化は模索しているか？	本市の考え方を説明するもの	・現在策定中の川崎市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進プランに基づき、取組を推進してまいります。 また、具体的な取組にあたっては、関係局と連携しながら進めてまいります。 ・国が進めるマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認の機能拡張（薬剤情報、特定健診結果の参照、電子処方箋等）へ迅速に対応してまいります。
2	(8)	1	総務企画局	主要出資法人等の経営改善及び連携・活用の推進	・リストラだけでなく、外部法人の積極活用策が検討されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・各主要出資法人等の経営改善及び連携・活用の推進においては、各法人の業務の状況に応じて、運営体制の見直しを図るだけでなく、事業手法の効率化策として、業務のアウトソーシングやアウトソーシングした業務自体の更なる効率化も必要であることから、各経営改善及び連携・活用の取組を進める中で、より有効な手法を検討していくことが重要であると考えているところでございます。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
3	(3)	全般	総務企画局 川崎区役所 幸区役所 中原区役所 高津区役所 宮前区役所 多摩区役所 麻生区役所 消防局	(地域防災力の向上に向けた連携)	・自助・共助による地域防災力充実だけでなく、新技術を有するスタートアップ企業との連携などは模索されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・これまで、首都直下地震などに備え、産官学民が連携したレジリエンス総合力向上プロジェクト「データ利活用協議会」への参画や国家プロジェクトであるSIPスーパー台風予測システムの高潮ハザード予測システム実証実験の実施など、最新の防災技術を活用する取組を進めてまいりました。 ・今後も、地域防災力の強化に向けた各取組を進める中で、他自治体や民間企業等における先進事例や新技術などがある場合には、その活用について、検討していきたいと考えております。
4	全般	全般	総務企画局	(庁内の人材育成と意識改革)	・従来型の官民区分、NPO利用といった固定概念ではない新しい担い手づくりが必要。官でも民でもいい、とにかく動ける人材を登用する仕組みは検討されているのか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・これまでも、地方公務員法に基づく任用制度の中で、各種選考の実施や派遣職員の受入れ、任期付職員や任期付研究員としての採用などにより、特別の知識、技術、経験等を有する人材の任用に取り組んでまいりました。 ・今後も、複雑化する地域課題や、多様化・増大化する市民ニーズに応じて、有益な人材を確保するために、他都市の事例なども参考にしながら、人材登用について検討してまいります。
4	(2)	1	総務企画局	行政のデジタル化に必要な人材育成の推進	・デジタル人材の調達、育成は現下の環境では最優先課題の一つである。どのような工夫が図られているか？	本市の考え方を説明するもの	・現在、情報管理部門において専門人材の育成に向けた外部の研修、OJT、人事ローテーション等を実施し、一般職員の育成に向けては、業務プロセス改革の実践を通じて、デジタルの活用を学ぶ研修の実施等に取り組んでおります。 ・また、外部人材の活用として、高度の専門性を要するCIO補佐業務において、民間事業者への委託を行っているところでございます。 ・今後に向けましては、情報管理部門や各所管課等において必要となるスキル等を整理・検討し、全職員のデジタルリテラシー向上を図るための新たな取組や、市役所内部で育成が困難な分野における外部人材の登用等を検討してまいります。
4	(3)	2	総務企画局	事務事故・事務ミス等の防止に向けた内部統制の取組推進	・リスクに対する向き合い方、コンプライアンスの本当の意味の理解なく研修だけを目的としてはならない。リスク感度、職場風土の醸成には徹底的コミュニケーションが必要。その認識が徹底されているか？	各改革課題の取組を進める中で参考にするもの	・令和2年度から各局区にコンプライアンス推進室職員を派遣する形で実施している管理職向け研修やその他の研修などの場で、良好なコミュニケーションによる風通しのよい職場環境の形成や、リスクに対する危機管理意識を持つことの重要性を伝えております。 ・職員の意識を変革し、浸透させていくには、ある程度の時間が必要なため、今後も、様々な手法で、職員の意識改革に取り組んでまいります。

■川崎市行財政改革第3期プログラム素案に対する質問・意見等に対する対応状況等一覧

取組 No.	項目 No.	課題 No.	局名	課題名	意見・質問等	対応区分	意見・質問等に対する市の考え方・対応状況等
4	(3)	3	総務企画局	不祥事防止 の取組推進	・リスクに対する向き合い方、コンプライアンスの本当の意味の理解なく研修だけを目的としてはならない。リスク感度、職場風土の醸成には徹底的コミュニケーションが必要。その認識が徹底されているか？	各改革課題 の取組を進 める中で参 考にするも の	・令和2年度から各局区にコンプライアンス推進室職員を派遣する形で実施している管理職向け研修やその他の研修などの場で、良好なコミュニケーションによる風通しのよい職場環境の形成や、リスクに対する危機管理意識を持つことの重要性を伝えています。 ・職員の意識を変革し、浸透させていくには、ある程度の時間が必要なため、今後も、様々な手法で、職員の意識改革に取り組んでまいります。
4	(3)	4	会計室	適正な会計 事務の執行 に向けた人 材育成	・掲げられている到達目標はアウトプットに近く、むしろアウトカムとしては、「職員が会計事務に習熟し、適切な会計事務が行われている状態」を掲げた方が良いと思われます。 ・また、その場合の成果指標としては、「職員の知識不足等の要因による会計事務のミスの数（どの程度減少しているか）」などが考えられます。	本市の考え 方を説明す るもの	・現状の会計事務のミスの多くは、職員の事務漏れや遅延によるものであり、会計事務に係る制度や事務処理の習熟では件数を減らすことが難しいものと認識しております。 ・会計室といたしましては、より多くの職員の制度や事務処理方法の理解を深めることが、できる範囲の目標と考えております。
4	(3)	5	監査事務局	財務事務執 行等の改善 に向けた取 組の強化	・到達目標は、「・・・取組が効果的に実施され、財務・経営に関する事務が適正かつ効果的に行われている状態」とした方が望ましいと考えます。 ・また、成果指標の「受講者アンケートによる研修達成度」は、現在の到達目標の成果指標としても不十分であり、「指摘事項」の数などにした方が良いと思います。	各改革課題 に反映する もの	・「到達目標」につきましては、いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「事務処理ミス、法令違反等の未然防止や事務改善に向けた取組が効果的に実施され、財務・経営に関する事務が適正かつ効果的に行われている状態」といたしました。 ・「成果指標」につきましては、監査においては、事務処理を抽出して監査を行っており、抽出方法や監査の対象局、対象事務等により「指摘事項」の件数は年度によって異なるほか、その内容の重要性も様々ございますことから、現時点では、追加は難しいものと判断しております。 ・今後につきましても、正しい事務処理が行われるよう、監査結果を活用した取組などを進め職員の意識向上を図ってまいりたいと考えております。